

令和5年度

第1回 県政アンケート調査結果報告書



長野県

目 次

I	調査の概要	-----	1
II	結果の内容	-----	4
	【県民の移動の実態及び公共交通に対する意識について】		
	問1	通院や買い物等の目的で最も長い時間利用する交通手段	5
	問2	目的地の所在地	7
	問3	公共交通を利用して移動できると便利だと思ふ目的地	9
	問4	外出の際の交通手段について、最も不安や不満に感じていること	10
	問5	公共交通が不便だと感じる理由	11
	問6	公共交通をもっと利用しやすくなるために、求めるサービス	12
	問7	問6のサービスを実現するための費用は誰が負担すべきか	13
	問8	今後の公共交通全体に対する行政の負担と利用者負担の最も望ましいあり方	14
	問9	県内の公共交通に対するご意見、ご要望	15
	【自殺対策について】		
	問10	自殺対策に関する相談窓口等の認知度	16
	問11	自殺の実態やその予防に関する知識を得る機会があったかどうか	18
	問12	自殺の実態やゲートキーパーに関する情報の認知度について	19
	問13	過去に「死にたいほどつらい」気持ちになったことがあるかどうか	20
	問14	「死にたいほどつらい」気持ちになった際、どこに相談したか	21
	問15	いつもと様子が違う人に対して、どのように接しているか	22
	問16	相手が悩みを打ち明けてくれた場合、普段から実施していること	23
	問17	周りにいる子どもたち（18歳以下）は生き生きと過ごすことができていると感じるか	24
	問18	生活困窮、勤務問題で悩んでいる人の割合	25
	問19	生活困窮で困った際の相談先	26
	問20	勤務問題で困った際の相談先	27
	問21	安心して働けていると感じるか	28
III	調査票	-----	29

I 調査の概要

1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政アンケート調査」を実施しました。
今回の調査においては次の項目について21問を設定しました。

(1) 県民の移動の実態及び公共交通に対する意識について

「長野県地域公共交通計画（仮称）」の策定に向けた基礎資料とするため、県民の移動実態や移動ニーズ等を調査

(2) 自殺対策について

「第4次長野県自殺対策推進計画」の指標達成状況等を把握するため、相談窓口などの自殺対策に関する認知度等を調査

2 調査の方法

(1) 調査地域：長野県全域

(2) 調査対象：県内在住の18歳以上の男女（民間調査会社が保有するモニターを活用）
回答者1,000人

(3) 調査方法：インターネット

(4) 調査期間：令和5年8月9日(水)～令和5年8月10日(木)

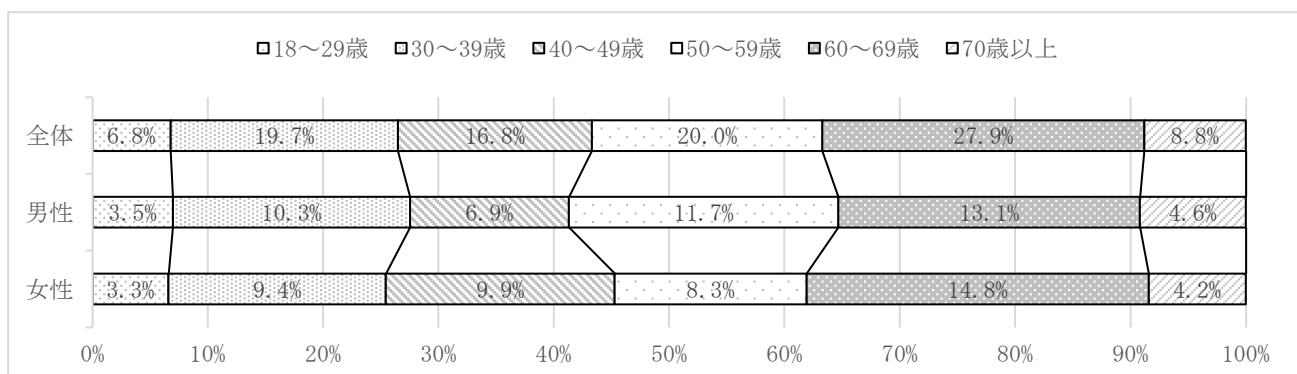
3 回答状況

【男女別・年代別】

(上段 回答者数：下段 割合)

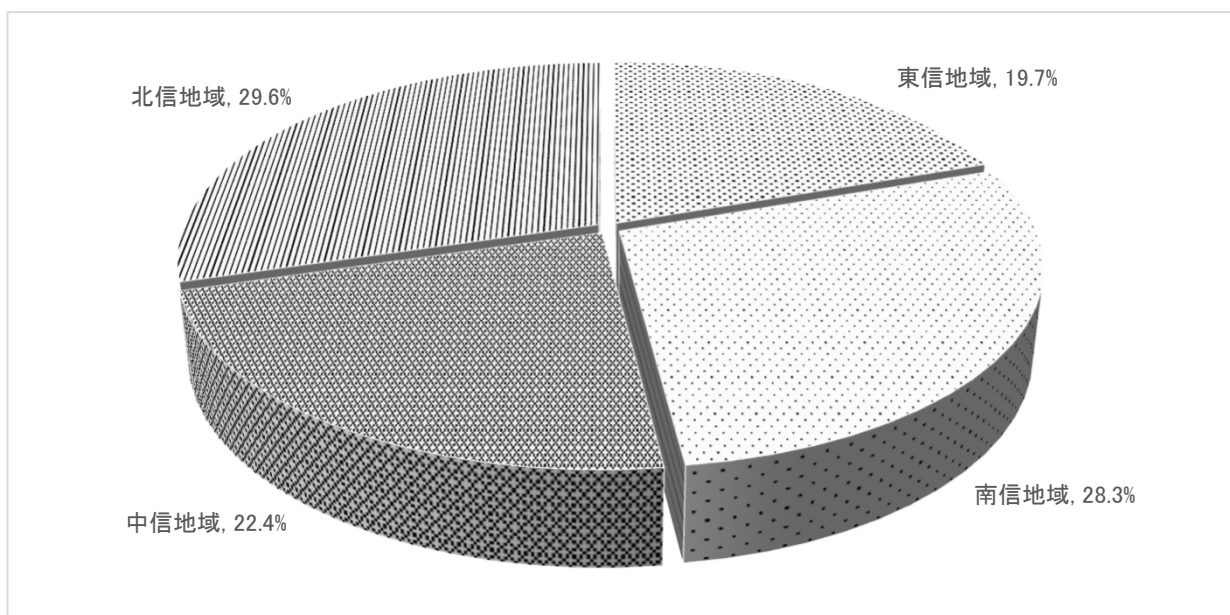
	総数	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
総数	1000人	68人	197人	168人	200人	279人	88人
	100.0%	6.8%	19.7%	16.8%	20.0%	27.9%	8.8%
男性	501人	35人	103人	69人	117人	131人	46人
	50.1%	3.5%	10.3%	6.9%	11.7%	13.1%	4.6%
女性	499人	33人	94人	99人	83人	148人	42人
	49.9%	3.3%	9.4%	9.9%	8.3%	14.8%	4.2%

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=1000)に対する割合



【地域別】

	回答者	
	人数	割合
東信地域	197人	19.7%
南信地域	283人	28.3%
中信地域	224人	22.4%
北信地域	296人	29.6%
合計	1000人	100.0%



4 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とまらない場合がある。
なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 「Ⅱ 結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。
また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (3) 過去に、県政モニターアンケート調査で同じ内容の調査を行ったものについては、参考値として掲載しているものがある。